

## JA自己改革推進レポート（JA鳥取中央）2月号

### （1）「星空舞」のPR強化

県の新品種米「星空舞」のPR活動をJA直売所「旬鮮プラザ満菜館」で行い、「星空舞」のおにぎりを来店者に配布した。同直売所では「星空舞」の売り場を常設し、お試しパックを販売して消費者に広めていく。JAでは生産体制の整備と併せ、生産物を販売の開拓・促進に活用し認知度を高めていく。



### （2）先進農家実践研修生の就農サポート

鳥取県立農業大学校が行う先進農家実践研修が開講された。この研修は、就農品目の栽培管理や経営に関する様々なノウハウを先進農家からマンツーマンで学び、関係機関がチームとなり、地域ぐるみで就農のサポートを行うもの。

本年度、倉吉西瓜生産部の先進農家が実習生2人を1年間受け入れ、就農に向けてサポートしていく。新規就農者の確保による産地拡大を目指す。



### （3）「第21回JA鳥取中央女性大会・家の光大会」を開催

大会は、「JA女性 地域で輝け 50万パワー☆」をテーマに開催し、女性会員や関係者ら500人が参加した。会員は「JA女性会 地域の絆」と題し、「きずなの力」音頭などの演芸を通じて、人や地域との絆を強めた体験を紹介。

また、女性会は趣向を凝らした踊りで大会を盛り上げた。栗原組合長は、「JA自己改革には、女性パワーが欠かせない。絆を大切に活動と改革の後押しをしてほしい」と呼びかけた。



### （4）自然を愛する心を育む交流体験

椎茸生産部は、倉吉市立成徳小学校の全校児童128人を対象に、椎茸の植菌体験を行った。

この活動は、体験を通して山里を守る気持ちや自然を愛する心を育み、地域を大切にする気持ちにつなげるのがねらい。ナラの原木200本に菌を植え付け11月頃から収穫し、収穫した椎茸は児童の持ち帰りや地域の住民へ配布する活動を予定している。

